



## I L C 計画の推進について

### 1 I L C に関する今後のスケジュール

3月7日国際研究者組織の会議において、政府として初めて I L C 計画への関心を表明。

- 現時点で日本誘致の表明には至らないが、国内の科学コミュニティの理解・支持を得られるかどうかを含め、正式な学術プロセス（日本学術会議が策定するマスタープラン等）で議論することが必要
- 国外においても、欧州素粒子物理戦略等における議論の進捗を注視する
- 日本学術会議の所見で課題が示されている一方、一定の学術的意義を有するとともに、ILC 計画がもたらす技術的研究の推進や立地地域への効果の可能性に鑑み、文部科学省は ILC 計画に関心を持って国際的な意見交換を継続する。



◎国内：日本学術会議マスタープランのプロセスにおいて協議（2020年2月策定）

◎海外：欧米各国との政府間議論へ

欧州：仏独との政府間ディスカッショングループを設置し、国際分担を協議  
（米国とはディスカッショングループ設置済み）

⇒ 欧州素粒子物理戦略に ILC 計画を盛り込むこと（2020年5月承認）

研究者：日米欧の研究者間で国際ワーキンググループ設置（9月に報告）

**政府レベル・研究者レベルで各国一体となって協議を進めること**

### 2 県の取組

(1) いわて県民計画(2019~2028)の「I L C プロジェクト」の推進

〔(仮称) I L C による地域振興ビジョンを今年度策定予定〕

- ア 国際研究拠点形成（教育、医療など各分野での受入れ環境整備）
- イ 加速器関連産業振興（研究から産業振興へと結び付けるイノベーション拠点検討）
- ウ 国際性豊かなスマートコミュニティ形成（外国人向けワンストップサービス）
- エ グリーン I L C によるエコ社会の実現（施設木造化、エネルギー利用）
- オ 交流人口拡大、科学技術教育水準の向上（I L C 推進モデル校、CERN派遣等）

(2) 学術会議マスタープラン、KEK 国際ワーキンググループへの協力（地元からの情報提供）

(3) 文部科学省等 I L C に関連する関係省庁との連携、要望活動

(4) I L C に関する国民への理解増進のための普及啓発活動  
（全国的な広報媒体掲載や首都圏イベント等の積極展開等）

